

Enjoy Cup 2026 U-10 サッカー大会

1. 目的 苫小牧市のサッカーファミリーの拡大、競技人口増を目指し子供たちにサッカーの楽しさを感じさせる機会を与えることを主たる目的とし、かつ心身の鍛錬とサッカー技術の向上を目指し、苫小牧の少年がサッカーを通じ交流と親睦を深めるため本大会を開催する。

2. 主催 苫小牧地区サッカー協会

3. 主管 苫小牧地区サッカー協会第4種委員会

4. 協賛 苫小牧港開発 株式会社、株式会社 開発ストア、メイプル建設 株式会社

5. 後援

6. 期日 6月21日（土）、22日（日）

7. 会場 苫小牧港開発ウトナイサッカー場

8. 参加資格

①「参加チーム」は今年度に（公財）日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。

②「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、（公財）日本サッカー協会第4種登録選手でありること。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。

③同一参加選手が異なる加盟チームの移籍後、再び参加することはできない。

④第4種年代の女子選手については（「クラブ申請」を承認された）同一「クラブ」内のチームから選手を参加させることも可能とする。ただし、前項③は適用される。

⑤引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。

⑥「参加チーム」は必ず「傷害保険（スポーツ安全協会傷害保険）等」に加入していること。

参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得た者でなければならない。

⑦女子選手に限り、U11（5年生）の参加を認める。

9. 参加チーム

（1）「参加チーム」の構成は、選手の人数の制限なし、引率指導者4名以内とする。

10. 大会形式

（1）競技方法は次のとおりとする。

①出場チームを__チーム__ブロック（計__チーム）に分け、予選リーグを行う。

②予選リーグ、上位8チームが決勝トーナメントへ進出する。

③予選リーグにおける順位の設定方法は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。

【1】全試合の得失点差（総得点－総失点）

【2】全試合の得点

【3】当該チーム同士の対戦成績（勝敗）

【4】【1】～【3】の全項目において同一の場合は、PK方式（3人）にて勝者を決定する。

11. 競技規則

公益財団法人日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。

12. 競技のフィールド

（1）フィールドの長さ（タッチライン）は60m、幅（ゴールライン）40mとする。

（2）その他ペナルティエリア等の長さに関しては8人制サッカールールに準ずる。

（3）ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。

※ゴールは競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない。

（4）交代ゾーン：自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける（ハーフウェーを挟んで3mずつ）

13. 試合球

4号公認球を使用する。

14. 競技者の数および交代

（1）1チーム8人の競技者によって行われる。

チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。

大会においては、8人に満たない場合を試合を開始しない。

試合中に怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する。

（2）登録できる交代要員および交代の制限は設けない、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。

（3）交代の手続き

①交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
②交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
③交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
但し、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてよい。

④交代について、主審・補助審判の承認を得る必要はない。

(4) ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

本大会において、退場させられた者は、次の1試合に出場できずそれ以降の処置については、本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。

1 5. 競技者の用具

(1) 競技者の用具については、大会実施年度の(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」および「ユニフォーム規定」に従うものとする。

(2) 選手番号については「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。

(3) ユニフォームの広告表示については、(公財)日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める

る規定に基づくものとする。

(4) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)は正の他に、副として正と色の異なるユニフォームを各試合に携帯することが望ましい(FP/GK用共)。ビブス対応も可とする。

(5) 審判(黒色)と同一または類似したシャツを試合において着用することはできない。(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」を遵守すること。

(6) シャツの前面・背面に選手登録用紙に記載された選手固有の番号を付けること。

1 6. テクニカルエリア

(1) テクニカルエリア(ベンチ)に入ることができる人数は、交代要員制限なし、引率指導者4名とする。

(2) その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。

1 7. 審判員

主審、補助審判の2名で運営する。

1 8. 試合時間

(1) 試合時間は前、後半とも12分間とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了の笛から後半開始まで)は3分とする。

(2) 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合は、予選Lでは引き分けとする。トーナメント戦においては、いわゆるPK方式で次回戦へ進出するチームを決定する。ただし、決勝戦では、前、後半3分ずつの延長戦を行い、なお決しないときはPK方式で勝者となるチームを決定する。

延長戦に入る前のインターバルは3分、ペナルティーマークからのキックに入るまでのインターバルは1分とする。

(3) 暑熱下において、前、後半中程に飲水タイムを採用する。

1 9. 警告・退場

(1) 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。

(2) 本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。

(3) 本大会の異なる試合において警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。

(4) 本大会の規律・フェアプレー委員会の委員長は苫小牧地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。

2 0. 参加料

¥

2 1. 組合せ

事務局にて実施

2 2. 帯同審判員

(1) 出場チームは公益財団法人日本サッカー協会審判員を帯同させること。

(2) 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。

2 3. 開会式

実施しない。

24. 閉会式

決勝戦終了後大会本部前にて行う。準決勝までに残ったチームの選手・監督は全員参加することを原則とする。

25. その他

- ①大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する。
- ②事前に本部にてメンバー表の提出とユニフォームチェックを行うこと。
- ③選手の保護者・関係者のマナー遵守（路上駐車、喫煙マナー、会場内での全ての言動、保護者・関係者を含めた「チーム内」において排出されるゴミ）については、チーム責任とする。
- ④帯同審判で大会を運営するので、各チームは審判割り当てを遵守すること。
- ⑤荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は苦小牧地区サッカー協会第4種委員会事業委員会において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあるので留意のこと。
- ⑥大会期間中の監督・選手・スタッフ・会場の写真、映像を苦小牧地区サッカー協会公式 SNS に掲載する可能性があります。

26. フィールドの大きさ

